

科目	工業英語II (ESP, Engineering II)		
担当教員	木津 久美子 非常勤講師		
対象学年等	電気工学科・5年・前期・選択・2単位 (学修単位II)		
学習・教育目標	B4(100%)		
授業の概要と方針	科学技術の革新的なアイデアを紹介するBBC Futureの記事を題材に、英語を理解し表現する力を養う。(1)英文記事を理解するのに必要な語彙力を身につける。(2)文構造を理解し意味を的確に掴む。(3)パラグラフ構造を理解し要約を考える。(4)英語の語順通りに理解する演習を行い速読力を養う。(5)記事に対する意見を述べる力を培う。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	[B4]必要語彙を習得することができる。		必要語彙を習得できるかを中間試験,定期試験,発表及び小テストで評価する。
2	[B4]文構造を理解し意味を的確に捉えることができる。		文構造を理解し意味を的確に捉えることができるかを中間試験,定期試験,発表及び提出課題で評価する。
3	[B4]パラグラフ構造を理解し要約を考えることができる。		パラグラフ構造を理解し要約を考えることができるかを中間試験,定期試験,発表及び提出課題で評価する。
4	[B4]英語の語順通りに理解することができる。		英語の語順通りに理解することができるかを発表及び提出課題で評価する。
5	[B4]記事について意見を述べるができる。		記事について意見を述べるができるかを中間試験,定期試験,発表及び提出課題で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は,試験70% 小テスト10% 到達目標1~5についての発表10% 到達目標2~5についての提出課題10% として評価する.総合評価100点満点で60点以上を合格とする.成績評価については,別途,工業英検3級合格で70点以上,準2級不合格Aで80点以上,準2級合格で90点以上,2級合格で100点の評価をする。		
テキスト	Innovation and Technology 『未来を見つめる科学英語』:デイビット・リア,印南洋,川口恵子,村上嘉代子(南雲堂)		
参考書	『工業英検3級問題集<2015年度版>』:(社団法人 日本工業英語協会) 『工業英検3級クリア』:(社団法人 日本工業英語協会)		
関連科目	本科の英語科目		
履修上の注意事項	興味を持って記事を理解し,それに対する意見を積極的に英語で表現してみようという姿勢を望みます.なお,記載しているテキストのUNITは目安で有り,履修者の関心や授業の進行具合に応じて変更する可能性があります。		

授業計画(工業英語II)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	オリエンテーション→Unit 1	Unit 1を参照しながら、授業の臨み方・進め方及び評価方法について詳しく説明する。スラッシュ・リーディングやシャドーイングの方法を学ぶ。
2	Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented...	Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars「自動車の拡張現実機能」、必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
3	Unit 1「自動車の拡張現実機能」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する(ペアワーク、グループワーク)。
4	Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots	記事についての意見を発表する・提出する(Unit 1)。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
5	Unit 2「知的ロボット」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する(ペアワーク、グループワーク)。
6	Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power	記事についての意見を発表する・提出する(Unit 2)。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
7	Unit 3「サッカーボールによる発電」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する。
8	中間試験	Unit 1～3について行う。
9	Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train	基本語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
10	Unit 9「時速4千キロメートルの電車」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する(ペアワーク、グループワーク)。
11	Unit 10 Bringing Buildings to Life: Smart Houses	記事についての意見を発表する・提出する(Unit 8)。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
12	Unit 10「スマートハウス」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する(ペアワーク、グループワーク)。
13	Unit 14 A Connected World: A Rise of Bluetooth	記事についての意見を発表する・提出する(Unit 10)。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
14	Unit 14「Bluetoothの高まり」	単語小テストを行う。パラグラフ構造を理解し要約を考える。語順通りに理解する演習を行う(スラッシュ・リーディング、シャドーイング)。記事について意見を交換する(ペアワーク、グループワーク)。
15	Unit 15 Will We Still Need Gasoline?: The Future..	Unit 15 Will We Still Need Gasoline?: The Future of Cars「車の未来」、記事についての意見を発表する・提出する(Unit 14)。必要語彙を学ぶ。文構造を理解し、意味を的確に掴む。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	本科目の修得には、30時間の授業の受講と60時間の自己学習が必要である。 前期中間試験および前期定期試験を実施する。	